

# メキシコ金融政策（2022年6月）

## 米国に追隨する0.75%ポイントの利上げ

2022年6月24日

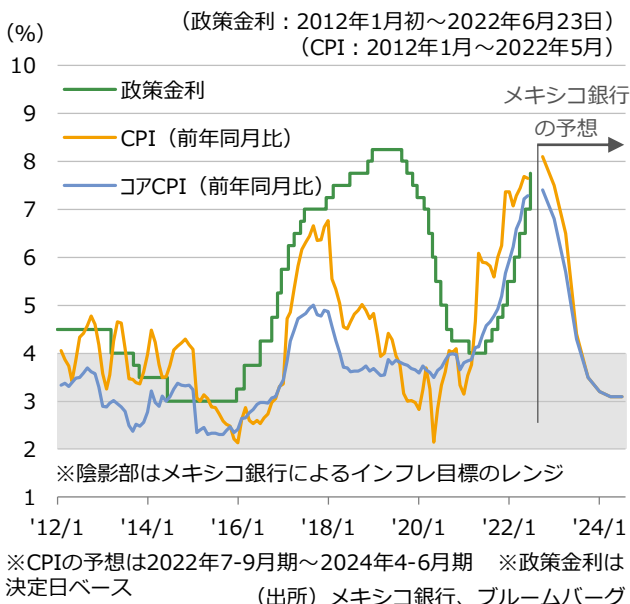
### インフレ抑制に向けて、次回も「同じく強力な措置」を講じる構え

メキシコ銀行（中央銀行）は6月23日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を7.00%から7.75%に引き上げることを全会一致で決定しました。利上げは昨年6月から9会合連続で、利上げ幅は過去4回の0.50%ポイントから0.75%ポイントに拡大されました。

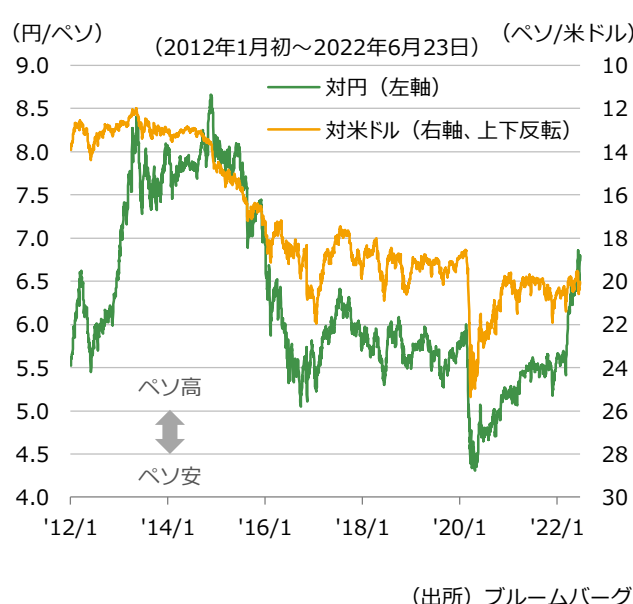
声明文では、前回同様に（ウクライナをめぐり）地政学リスクの高まりや中国における厳格なロックダウンが、足元のインフレ圧力を一層高めていると指摘しています。その影響でCPI（消費者物価指数）の前年比は、6月前半に総合が7.88%、コアが7.47%と、5月からいずれも加速しており、四半期ベースでは7-9月期がピークになるとの予想を示しました。その後の予想も前回から上方修正し、インフレ目標に回帰する時期も後ずれさせていますが、依然としてかなりの上振れリスクがあるとも付言しています。これを踏まえ、「次回会合でも利上げを続ける予定であり、状況に応じて（今回と）同じく強力な措置を講じるか判断する」と記しているため、次回も利上げ幅は0.75%ポイントになる可能性が高そうです。

今回、メキシコ銀行が利上げ幅を0.75%ポイントに拡大させた背景には、6月14-15日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で0.75%ポイントの利上げが決定されたこともあると考えられます。米国の利上げに歩調を合わせるようにメキシコが利上げペースを変化させていることは、メキシコ・ペソが対米ドルで安定的に推移する一因となっており、今後もこうした展開が続くと予想されます。

#### メキシコの政策金利とCPI



#### メキシコ・ペソの対円・対米ドルレート



#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。